

## New Year's greetings 2022 新年のごあいさつ



**明** けましておめで  
とうございます。

村民の皆様におかれ  
ましては、穏やかな令  
和4年の新春を迎えら  
れたことと、心よりお  
慶び申し上げます。また、

日頃より村政運営に対しご理解とご協力を賜り、厚く  
御礼申し上げます。

さて、令和3年は新型コロナウイルス感染症の第3  
波が全国に拡大している中で迎えたが、10月以降、  
ワクチン接種の効果が現れたのか、第5波が落ち着き  
を見せていたところ、新たな変異株「オミクロン株」が  
出現し、世界各地で感染が広がる中で新年を迎えまし  
た。日本でも、予断を許さない状況になっております。  
村民の皆様には、感染拡大が落ち着いている現在の状  
況を維持するためにも「手指の消毒・マスクの着用・  
三密の回避」など、基本的な感染防止対策をお願いい  
たします。そして、今年こそは、新型コロナウイルス  
感染症の終息を願うばかりであります。

昨年を振り返りますと、やはり新型コロナウイルス  
感染症に翻弄された1年でした。特に、令和2年に開  
催予定の東京オリンピック・パラリンピックが、近代  
オリンピック史上初めて延期され、7月23日から9月  
5日まで開催されました。そして、新型コロナウイルス  
の感染拡大により、開会式を始め競技のほとんどが  
無観客となる異例の大会でもありました。

また、静岡県熱海市では7月2日に大雨警報、さら  
には土砂災害警戒情報が発令される中、3日午後、伊



豆山地区で大規模な土石流が発生し、死者26人、行方不明者1人の大惨事となりました。土石流は、逢初川あいはつがわ上流の盛り土が崩落して発生したとみられています。今も一部の土砂が残り二次災害の不安がつきまとっているようです。

本村の地形は、日本でも有数の河岸段丘を形成しており、急傾斜地が多いことから、村民の生命と財産を災害から守るため、防災・減災対策に努めて参ります。

さて、7月4日には新庁舎建設工事の安全祈願祭が行われ、工事がスタートいたしました。現在までに、鉄骨工事がほぼ完了し、新庁舎の外観が分かるようになりました。今年も、外装や内装、電気機械設備工事を行い、来年1月の完成を目指します。村民皆様が利用しやすく、将来にわたって親しまれる庁舎になるよう進めて参ります。

一方で、村の行事につきましては、一昨年同様「河岸段丘ハーフマラソン」や「村民運動会」「昭和の秋まつり」などが、2年連続での中止を余儀なくされました。「河岸段丘ハーフマラソン」については、既に本年も中止することが決まっております。

今後も、村民の皆様が住んでよかった、村外の人には住んでみたいと思われるような村づくりを進めて参りますので、なお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健勝と、ご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

昭和村長 堤 盛吉